

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 434 号	氏名	橋爪 聡
学位審査委員	主 査	由井 克之	
	副 査	下川 功	
	副 査	大園 恵幸	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、肺癌病理標本における免疫染色によるリンパ管侵襲の診断精度向上と、新たな脈管侵襲診断基準の確立を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 病理標本の評価をブラインド下で2名が独立に行う等バイアスを最小限に抑えるよう工夫し、また適切な統計学的解析法を用いており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、免疫染色により癌細胞リンパ管侵襲の診断精度が向上すること、リンパ管侵襲の強弱が肺癌の明確な予後決定因子のひとつであることを明らかにし、悪性腫瘍の臨床病理学的研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は悪性腫瘍の臨床病理学的診断法の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			